

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：いいじまルーテル保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：山口 卓也	定員（利用人数）：60（54）名
所在地：〒244-0842 横浜市栄区飯島町48-1	
TEL：045-895-8780	ホームページ： <a href="https://ikusosu.jp/iijima">https://ikusosu.jp/iijima</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2011年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 イクスソ会	
職員数	常勤職員：10名 非常勤職員：28名
専門職員	（専門職の名称）：名
	保育士：17名 看護師：1名
	栄養士：1名 子育て支援員：3名
施設・設備 の概要	（居室数）
	居室：0.1歳児室 設備：調理室
	居室：2歳児室 設備：ランチルーム
	居室：3～5歳児室 設備：調乳室
	設備：沐浴室
	設備：遊戯室
	設備：事務室
	設備：会議室
	設備：トイレ
設備：屋上（遊び場）	
設備：園庭	

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

『人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなた方も人にしなさい』との聖書の言葉を大切にする。

児童福祉法とキリスト教に基づき、保育を必要とする全ての子どもにとって、最もふさわしい生活の場を保証し、子どもたちを愛護すると共に、最善の利益を図り、保護者と共にその福祉を積極的に増進する。

## &lt;基本方針&gt;

ユネスコが提唱した「生涯教育」を念頭に置いて、『誕生から学齢期までの一貫保育』を意図しています。更に児童憲章とキリスト教精神を基にして保育所保育指針、モンテッソーリ幼児教育を採り入れて当園独自の保育をおこないます。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

＜いいじまルーテル保育園の特徴的な取組＞

1. 「人にしてもらいたいと思うことは何でもあなたがたも人にしなさい。」この聖書の言葉を大切に、こどもたちの必要を自分のこととして考えて保育をする。
2. こどもたち一人一人の成長のために、必要な訓練となる、モンテッソーリ教育法を実践する。
3. 子どもの人権を尊重したより良い保育を目指す。
4. 園内外での研修の機会を積極的に持ち、職員個人のキャリアアップを図る。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2024年12月24日（契約日）～ 2025年04月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2019年度）

#### ⑥総評

【いいじまルーテル保育園の概要】

●いいじまルーテル保育園（以下、当園という。）は、社会福祉法人イクソス会（以下、法人という。）の運営です。法人は、横浜市に4園、川崎市に2園及び子育て支援センター、学童保育を展開しています。当園は平成16年に大船ルーテル保育園分園としてこの地（栄区飯島町）に開設され、平成22年に「いいじまルーテル保育園」に改称、翌23年に設立となり、現在に至っています。地域は、JR大船駅周辺の再開発に伴い、飯島団地はリニューアルが図られ若い世代も徐々に戻り、さらにJR大船駅へは2km圏内で、横浜、東京へのアクセスの良さもあり、待機児童は増えつつあり、保育園の需要、期待は大きいものがあります。現在、定員は60名（内、乳児定員は27名）で0歳～5歳児が元気に楽しく保育園生活を送っています。

●保育の特長は、ユネスコが提唱した「生涯教育」を念頭に入れ、0歳から就学前までの一貫保育を心がけ、児童憲章とキリスト教精神を基にし、保育所保育指針、モンテッソーリ幼児教育（乳児も含む）を併用した保育を進めています。また、次世代育成を中心にした子育て支援（家庭支援）にも力を入れて取り組んでいます。日常保育では、子どもたちが人間として必要な基本的な生活習慣（挨拶、食事、排泄、整理整頓、清潔、他者への思いやり等）が年齢に応じてできるよう支援を行い、子ども一人ひとりの健やかな成長・発達に向けて適切な援助を行っています。園の基本理念である「他人に迷惑をかけずに、いたわりの心を持つ園児に」、「互いに協力できる園児に」、「個性を大事に健やかに成長する園児に」、「明るく素直で礼儀正しい園児に」の実現を目指し、日々の保育に当たっています。

◇特長や今後期待される点

##### 1. 【キリスト教教育の推進】

いいじまルーテル保育園の保育の特長としてキリスト教教育があります。キリスト教教育は、園運営の原点であり保育を実践する上での指針になっています。イエス・キリストの「何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもその通りにせよ」（新約聖書マタイによる福音書7章12節）教えを大切に、子どもたちは朝の祈り、食事の祈り、帰りの祈りを毎日行っています。朝は、3歳～5歳児は燭台に灯されるろうそくを前に、胸に手を当て讃美歌を歌い、お祈りをします。お祈りをする子どもたちの姿、顔はとても厳かです。1歳児、2歳児は各保育室でサークル（ミニ礼拝式）を行っています。職員は、今日一日子どもたちに実りある保育が行えることを祈り、キリスト教の教えに沿っ

て保育が行われていきます。

## 2. 【モンテッソーリ教育の推進】

いいじまルーテル保育園ではモンテッソーリ教育を推進し、基本として、「障害の有無にかかわらず、全ての子どもは自ら成長していく力（自己教育力）を持っている」点に視点を置き、教育・保育を展開しています。モンテッソーリ教育は個別活動として、発達段階に応じて環境構成を設定して行っています。具体的にはカリキュラムに従って用意された各種教具（既成の物、職員の手作り等）に触れ、幼児の持つ自発的で創造的な関心を段階的に引き出し、教具集中を通して秩序ある自己育成を促し、育成していきます。ルーテル保育園ではモンテッソーリ教育のカリキュラムを「日常生活の練習」（#1～#29）、「感覚教育」（#1～#43）、「言語教育」（#1～#42）、数教育（#1～#35）とし、各#1から、年齢別カリキュラムのNO.が順番に割り振られており、順に覚えることを基本とし（異年齢で行う際は順番通りでないケースもあります）、全体的な計画の附表として展開しています。

## 3. 【幅広い教育の推進】

教育において、3歳以上児では、「国際の時間」、「音楽の時間」、4歳、5歳児の「絵画の時間」を実施しています。「国際の時間」では、英語を学ぶことのみではなく、日本人以外の人々と幼少期から交わることが国際感覚の始まりになることを踏まえ、当園では「体を使って学ぶ英語」とし、国際感覚豊かな講師と身近に接する時間を設けています。「音楽の時間」は、職員のピアノ伴奏に合わせて明るく、楽しく歌い、音感を養っています。「絵画の時間」は、美術大学卒の講師が特別絵画指導に来園し、子どもたちの創造力の芽を育み、上手に絵を描くことより子どもの持つ感性を伸ばしながら、子ども一人ひとりが持っている力を育むよう展開しています。当園では、心身の活動を十分に行い、基礎体力を養い、また、日頃の職員以外の大人と交流を持つことで視野を幅広く広げるよう支援しています。

## 4. 【次期幹部職員の育成】

法人では、人材の確保・定着と保育の質の向上に向けて、研修とマニュアル、自己評価、OJTを複合した保育者育成に戦略的に取り組んでいますが、当園及び法人系列園全体として人材の採用・定着等に苦慮し、工夫・努力をして取り組んでいます。職員動向については、法人系列園間の異動等により主任クラスが手薄であることが鑑みられます。職員の補充は急務ですが、系列全園の体制を維持するためには園長の存在は重要であり、主任クラスからの昇格を考慮して施行すると、保育実務の核となる主任が不足することになります。キャリアアップ制度を最大限有効活用し、早期に次期幹部職員の育成に努めていかれることを期待しております。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 いいじまルーテル保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

この度は貴機関による第三者評価を受審し、公正かつ専門的な評価を通じて私たちの取組みがより一層明確になりました。貴重な時間とご尽力を賜り、心より感謝を申し上げます。

今後の改善に向けた貴重な指針を得ることができました。

当園のキリスト教保育とモンテッソーリ教育を利用者に提供できるよう、心掛けていきたいと思っております。

《評価後取組んだこととして》

1. 事前説明会はもちろんのこと、保護者懇談会においても基本的理念をお伝えする。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり